

学校関係者評価書

大阪市立豊新小学校

学校関係者評価委員会

1. 全体のまとめ

基礎・基本の学力が身につくように進められている。その学力を定着するようにさらに取組の強化を図られたい。また、児童アンケートでは、96.8%の児童が自尊感情の高さを示しているが、それに比べて、向上心が86.4%と低いので、向上心につながる意欲を育ててほしい。

2. 項目別評価について

(1) 学校経営の重点	(2) 学習活動の重点
少人数、習熟度別、反復学習の実践的取り組みにより、少しずつ定着してきた。また、互いの良さを認め合う場面が多く見られるようになってきた。	学習のめあてや課題を明確にし、教材・教具を工夫された授業が展開されており、意欲的に学習に取り組む子どもが増えてきた。
(3) 生活指導の重点	(4) 保健管理・指導の重点
登校時の朝のあいさつをすることへの意識づけは、かなり広まってきている。しかし、中には「ありがとう」や「ごめんなさい」を言えない子どももいるので、さらなる取り組みを進めてほしい。	なわとび週間やかけ足習慣を経験することで、おもしろさを感じ、進んで運動に取り組む子どもの姿がよく見られるようになった。
(5) 研修の重点	(6) 道徳教育の重点
体育科の授業では経験したゲーム等をクラス遊びにも生かすことができ、楽しんで取り組むこともできた。仲間と協力し、進んで取り組むための研究を継続してほしい。	道徳の時間やすべての教育活動を通して、自分や友だちの良さに気づくよう指導されていることがよくわかった。今後もさらに、自分や友だちの良さを認められるような集団づくりを期待する。
(7) 特別支援教育の重点	(8) 特別活動の重点
連絡帳や電話連絡、懇談、家庭訪問などで、支援の必要な子どもの保護者と今後も連絡を密にすることで連携を深めていってほしい。	交流給食やフェスティバル、スポーツ交流会などの行事で、兄弟姉妹学年の交流を深めることができていたことがわかった。

3. 今後の改善方策について

- ・学力、道徳的価値、生活習慣の定着のため、継続指導を図りたい。
- ・個に応じた支援の方法、教材や取り組みをさらに工夫していく。
- ・生活指導において「ありがとう」「ごめんなさい」の2つに絞って指導を進めていく。
- ・全校でたて割り班活動を企画、運営していくことで、児童活動の活性化を図る。